

高等学校芸術科（書道）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	ア ゆう		各 2 × 6
	イ てっちょうそう	てつようそう もよい。	
	ウ じゅぼく		
	エ だいうてい		
	オ かいつうほうやどうこくせき		
	カ おうたく		
問二	ア 懸腕法		2
	イ 李柏尺牘稿		2
	ウ 嵯峨天皇 橘逸勢	順序は問わない。	各 2 × 2
	エ 柳公権		2
	オ 貫名菘翁		2
問三	ア 穂先が太く短い筆。	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	各 3 × 4
	イ 松材を焚いて得た煤で製した墨。		
	ウ 印章で文字が赤く押捺され、地が白くなるもの。		
	エ 他者の開封を防止するため、木竹簡等の封じ目に詰めた粘土に印を押したもの。		
問四	小篆は、複雑な構造を持つ大篆を整理・簡略化したもので、やや体勢が長く、点画が方正になっている。	内容を正しくとらえていれば、 表現は異なってもよい。	8

□

4 4

高等学校芸術科（書道）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
二	問一	① 筆		各 2 × 5	
		② 無			
		③ 所			
		④ 当			
		⑤ 意			
	問二	①	書跡名 真草千字文		各 3 × 6
			筆者名 智永		
		②	書跡名 中秋帖		
			筆者名 王献之		
		③	書跡名 平復帖		
			筆者名 陸機		
	問三	運筆は自在で、連綿と、文字の勢いの変化に特徴がある。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	問四	<ul style="list-style-type: none"> 楷書に近い起筆で、線の稜線をはっきり出し、強く打ち込んでいる。 行書特有の起筆で、柔らかく入っている。 前の面の動きを受けて、逆筆に近い入り方をしている。 非常に力強い起筆で、紙に筆を突きさすように打ち込んでいる。 		3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3
	問五	①	八分がよく表れ、謹厳で整齊な字形である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3
		②	簡潔な直線を主体として書かれている。		
③		伸びやかで大胆な波磔が見られる。			
三	問一	ア	書跡名 秋萩帖		各 3 × 2
			人物名 小野道風		
		イ	やへむくら		
	ウ	万葉仮名から仮名へと移行する過渡期の字体、草仮名で書かれている。字間・行間は均等で、一文字ずつ丁寧に書写されており、墨の潤濁によって紙面に立体感が生まれている。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	問二	①	ウ		各 3 × 5
		②	カ		
		③	ア		
		④	オ		
		⑤	エ		
問三	仮名を書いた書という意味で、特に平安時代の仮名の書の伝統に立脚した書をいう。漢字が交えられた詩歌や文章・語句などの場合でも、平安時代の仮名の書の伝統を踏まえて表現されている書は仮名の書に含まれる。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	

高等学校芸術科（書道）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕			採 点 上 の 注 意	配 点		
四	書の根本は気こそ大切である。気が充実すれば、字の長短方円といった形態はすべてうまくいくものである。			内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
五	練習方法や表現法、見方・考え方についての理解を深め、書への興味や関心を一層高めること。			順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 3	15	
	書の現代的な意義や芸術的な価値を見だしていくこと。						
	書かれた時代や人物の理解を通じて歴史的に鑑賞を深めること。						
六	問一	記号	②		記号と書跡名が対応しているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	2	
		書跡名	自書告身				
		観点	書風	内容	牛橛造像記は素朴で剛健な美しさがあるのに対し、自書告身は量感、躍動感、規格の雄大さに満ちており、堂々とした風格がある。	順序は問わない。 記号と観点及び内容が対応しているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	各 6 × 3
	観点	用筆	内容	牛橛造像記は始筆を大きく鋭く入れて、送筆は筆を右に押すように引くのに対し、自書告身は直筆・藏鋒にし、起筆・終筆は力強い。			
	観点	点画	内容	牛橛造像記は直線的で角張っているのに対し、自書告身は丸みを帯びている。			
	問二	書跡名	孔子廟堂碑		問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	2	
表現意図		厳しい「風」を表現しようとする際には、力強い書風で、厳しさを感じさせる牛橛造像記がふさわしいのに対し、温和な「風」を表現しようとする際には、伸びやかな書風で、柔らかさを感じさせる孔子廟堂碑がふさわしい。		問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	8		